



2019年6月11日

各 位

会 社 名 J X T Gホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉森 務
コード番号 5020 東証・名証第1部
問合せ先 財務IR部 IRグループマネージャー
井上 亮
(電話番号 03-6257-7075)

当社子会社による英国北海カリーンガス田における天然ガスの生産開始について

当社子会社のJX石油開発株式会社(社長:細井 裕嗣^{ひろし})が100%出資する英国法人 JX Nippon Exploration & Production (U.K.) Limited (社長:辰巳 久雄、以下、「JXNEPUK」)は、權益を保有する英国北海の22/25a 鉱区に位置するカリーンガス田において、6月7日(現地時間)に天然ガスの生産を開始しましたので、お知らせいたします。

なお、本件による2020年3月期連結業績への影響は軽微です。

以 上

「添付資料」

英国北海カリーンガス田における天然ガスの生産開始について

2019年6月11日

各 位

J X 石油開発株式会社

英国北海カリーンガス田における天然ガスの生産開始について

当社（社長：細井^{ひろし}裕嗣）が100%出資する英国法人 JX Nippon Exploration & Production (U.K.) Limited（社長：辰巳久雄、以下、「JXNEPUK」）は、権益を保有する英国北海の22/25a 鉱区に位置するカリーンガス田において、6月7日（現地時間）に天然ガスの生産を開始しましたので、お知らせいたします。

カリーンガス田は、2008年に当社を含むパートナーにより発見された後、2015年に英国政府より開発計画が承認され、2019年の生産開始に向けて開発作業を進めてきたものです。英国北海においては過去11年間に発見された最大級のガス田であり、開発移行に至ったガス田としては1990年以降で最大規模のものです。

開発作業は順調に進捗し、生産開始は当初計画比で1か月の前倒しとなり、開発費も当初予算から大幅な削減を達成しました。

ピーク時生産量は原油換算で日量約10万バレル（グロス）であり、当該ガス生産量は英国におけるガス消費量の5%程度に相当すると見込まれます。

現在当社では、先般発表した長期ビジョンに基づき、ガス事業の強化に取り組んでおりますが、カリーンガス田は、当社の中長期の生産量を支える重要なプロジェクトの一つとして、ポートフォリオの低炭素化にも資するものです。

当社は、エネルギーの安定供給および環境負荷の低減に取り組むとともに、引き続き、保有資産の価値最大化を目指してまいります。

以 上

【添付】

<パートナー構成>

パートナー	権益比率
Total E&P North Sea UK Limited(オペレーター)	49.9873%
Britoil Limited (英国 BP 社の子会社)	32.0000%
JX Nippon Exploration and Production (U.K.) Limited	18.0127%

<JX Nippon Exploration and Production (U.K.) Limited 概要>

- (1)社 長： 辰巳 久雄
- (2)株 主： JX 石油開発株式会社 100%
- (3)資本金： 1,764 百万ドル
- (4)設 立： 1996 年 12 月 2 日

